

# VIDEOBAR CONFIGURATION

ユーザーガイド



<b>はじめに</b> .....	<b>4</b>
システム/ブラウザ要件 .....	4
商標およびライセンス情報 .....	5
利用規約とプライバシーポリシーについて .....	5
<b>HOME SCREEN (ホーム画面) &lt;USBアプリ版のみ&gt;</b> .....	<b>6</b>
<b>SETTINGS (設定)</b> .....	<b>8</b>
Administration Settings (管理者設定) .....	9
<b>STATUS (ステータス)</b> .....	<b>11</b>
<b>CONFIGURATION (コンフィグレーション)</b> .....	<b>13</b>
Firmware (ファームウェア) .....	13
Installing Firmware Manually (ファームウェアの手動インストール) .....	14
User Access (ユーザーアクセス) .....	14
Profile (プロファイル) .....	15
Restoring a Profile (プロファイルの復元) .....	16
Saving the Current Profile (現在のプロファイルを保存) .....	16
Uploading a Profile (プロファイルをアップロード) .....	16
System (システム) .....	17
Identity (固有情報) .....	18
<b>VIDEO (ビデオ映像)</b> .....	<b>20</b>
Camera (カメラ) .....	20
Saving New Presets or Changing Presets (新規プリセット保存と変更) ....	20
Viewing Existing Presets (既存プリセットの表示) .....	21

Autoframing (自動フレーミング) .....	21
Image (イメージ/画像) .....	23
<b>AUDIO (オーディオ) .....</b>	<b>25</b>
Microphones (マイクロフォン) .....	25
Dynamic Beams (ダイナミック・ビーム) .....	25
Static Beams (スタティック (固定) ・ビーム) .....	26
Adding and Deleting Beams (ビームの追加と削除) .....	26
Exclusion Zones (エクスクルージョン (除外) ゾーン) .....	27
Configure Room (部屋を構成する) .....	28
Audio Controls (オーディオ・コントロール) .....	28
Meters (メーター) .....	29
<b>NETWORK (ネットワーク) .....</b>	<b>30</b>
Wired (有線) .....	30
Wireless (ワイヤレス) .....	32
SNMP (SNMP設定) .....	34
API (API設定) .....	35
<b>SECURITY – CERTIFICATES (セキュリティと認証) .....</b>	<b>37</b>
Certificate Signing Request (認証サイン要求) .....	37
Install/View (インストール/ビュー) .....	39

# はじめに

The Videobar Configuration アプリケーションを使用して、デジタル・パン&チルト・ズーム (以後「PTZ」) カメラの制御やソフトウェアの更新など、VB1の各設定を構成することができます。主な構成オプションは次のとおりです。

- ビデオ設定 (パン/チルト/ズーム、明るさ、コントラストなど)
- ユーザー設定 (オートフレーム、マイクなど)
- 管理設定 (ネットワークパラメータ、Bluetooth接続など)
- ファームウェアの更新 (管理設定に含む)

## ご注意：

PTZやカメラのプリセットなどの基本設定は、どのユーザーでも設定でき、変更にはパスワードは必要ありません。ソフトウェアのアップデートを含む残りの設定オプションは管理者のみが利用でき、アクセスにはパスワードが必要です。

Videobar VB1でHDMIディスプレイポート出力を使用するには、[設定]タブを開き、[ユーザーアクセス]ページを選択し、DisplayLink®設定を有効にする必要があります。Windowsを使用している場合は、まず下記アドレスから最新のDisplayLinkドライバをダウンロードしてインストールする必要があります。

[displaylink.com/downloads](https://www.displaylink.com/downloads)

ブラウザ (WebUIアプリ) でアプリを使用する場合、カメラ画像を表示するにはUSB接続も必要です。

## システム/ブラウザ要件

The Videobar Configuration アプリは、次のオペレーティング・システムとブラウザで動作します。

### オペレーティング・システム

Microsoft Windows 8 (and higher)

macOS® 10.12 (and higher)

### ブラウザ

Google Chrome™, Version 75 (and higher)

Microsoft Edge, Version 44 (and higher)

Safari®, Version 12.1.1 (and higher)

Mozilla Firefox, Version 67 (and higher)

## 商標およびライセンス情報

BoseはBose Corporationの商標です。

VideobarはTransom Post OpCo LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Bose Professionalによるこれらのマークの使用はライセンスに基づくものです。

DisplayLink®は、EU、米国、およびその他の国におけるDisplayLink Corp.の登録商標です。

Firefoxは、米国およびその他の国におけるMozilla Foundationの商標です。

Google ChromeはGoogle LLCの商標です。

HDMIはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

macOSおよびSafariは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Microsoft、Microsoft Edge、Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

## 利用規約とプライバシーポリシーについて

エンドユーザーライセンス契約、プライバシーポリシー、または使用条件を表示するには、左ペインの「[Settings](#)」(設定)をクリックし、目的のリンクをクリックします。(詳細については、「設定」を参照してください)。



## >HOME SCREEN (ホーム画面) (USB app のみ)

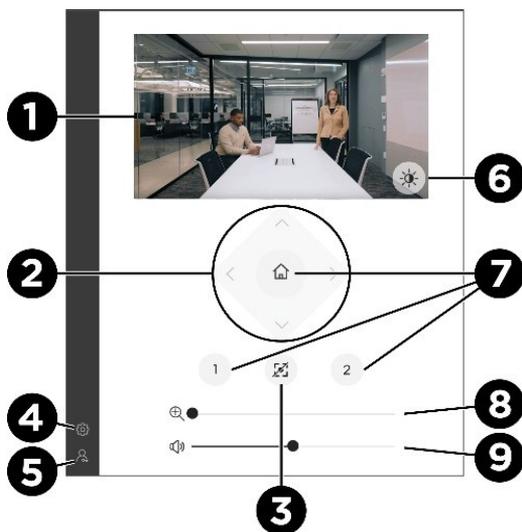
コンピュータをBose Professional Videobar deviceのUSB-Cポートに接続すると、Videobar Configurationアプリを開くことができます。初期画面は、カメラ設定を調整できるホーム画面になります。

アプリ内の他の場所からこの画面にアクセスするには、ホーム画面アイコンをクリックします。



**注:** USB接続が確立されていない場合は、デバイスが電源コンセントとコンピュータのUSBポートに接続されていることを確認するよう促すメッセージが画面に表示されます。

ホーム画面はすべてのユーザーがアクセスできます。システム管理者のみが利用できる、パスワードで保護された設定もあります。



### 1. **Video Stream (ビデオストリーム):**ビデオバーからのライブビデオストリーム

**注:** カメラは一度に1つのアプリにのみストリーミングします。ビデオストリームが利用できないというメッセージが表示された場合は、カメラを使用している別のアプリが開いている可能性があります。

### 2. **Camera Pan and Tilt (カメラパン&チルト):** ボタンを1回クリックすると、小刻みにカメラをパンまたはチルトし、ボタンをクリックしたままにすると、連続的にパンまたはチルトします。

### 3. **Autoframe (オートフレーム):** オートフレーム機能のオン/オフを切り替えます。オートフレームは、パン/チルト/ズーム(PTZ)設定を自動的に調整し、室内のすべての参加者を連続的にフレームに収めます。オートフレームがオフの場合、アイコンはスラッシュで表示されます。

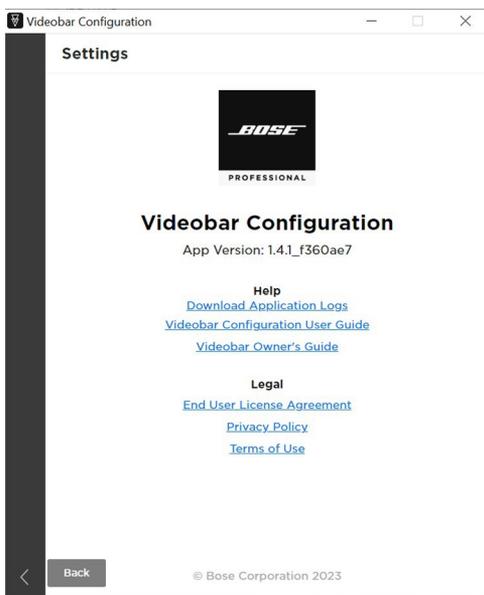


注: PTZカメラコントロールまたはプリセットボタンを選択すると、オートフレームは自動的にオフになります。

4. **Settings (設定):** 設定 **Settings** アイコンをクリックして設定画面を開きます。ホーム画面のアイコンをクリックすると、ホーム画面に戻ります。
5. **Administration (管理):** 「管理」アイコンをクリックすると、「管理」アプリのパスワードで保護された構成設定にアクセスできます。これらの設定は、システム管理者のみが利用できます。
6. **Low Light Compensation (低照度補正):** 自動低照度補正の有効/無効を設定し、薄暗い照明条件下での映像を最適化します。
7. **Presets (プリセット):** 3つのプリセットボタン (**Home**、**1**、**2**)があり、あらかじめ設定されたパン、チルト、ズーム設定でカメラを素早く配置することができます。
8. **Zoom (ズーム):** スライダーを右に動かすとカメラがズームインし、左に動かすとズームアウトします。
9. **Volume (音量):** スライダーを右に動かすと音量が上がり、左に動かすと音量が下がります。

# SETTINGS (設定)

設定ページでは、アプリ本体とBose Professional Videobarファームウェアのバージョン情報を提供します。アップデートがある場合は、アプリとファームウェアの最新バージョンへのリンクも提供されます。



リンクをクリックすると、以下のドキュメントにアクセスできます：

**Videobar Configuration User Guide /設定ユーザーガイド**(このアプリのユーザーマニュアル)

**Videobar Owner's Guide /オーナーズガイド**(Videobar製品のユーザーマニュアル - 目的のモデルを選択)

Videobar Configuration APP /設定アプリの**End User License Agreement/エンドユーザーライセンス契約 プライバシーポリシー**

Videobar Configuration APP /設定アプリ使用条件(**Term of Use**)

アプリ内のどのページでも、左ペインの「**Settings**」アイコンをクリックして設定ページにアクセスします。

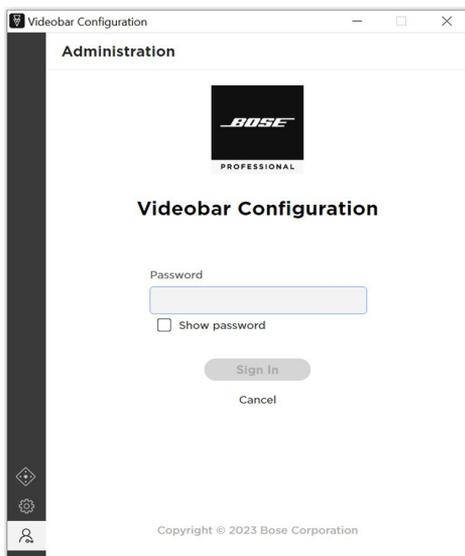


ホーム画面に戻るには、「**Home Screen**」アイコンをクリックします。



## Administration Settings (管理者設定)

このアプリには、システム管理者のみが利用できるパスワードで保護された設定がいくつか含まれています。これらの設定は、すべてのユーザーがアクセスできるカメラ制御設定を含む [Home](#) (ホーム画面) からアクセスできます。



管理者設定にアクセスするには

1. ナビゲーションパネルの **[Administration/管理]** アイコンをクリックします。管理画面が表示されます。
2. 管理者パスワードを入力し、**[Sign In / サインイン]** をクリックします。



パスワードの表示/非表示を切り替えるには、[Show Password /パスワードを表示] を選択または選択解除します。

Videobar デバイスの管理設定に初めてアクセスするときは、工場出荷時のデフォルトパスワード: **Bose123!** を入力する必要があります。

ログインに 5 回失敗すると、工場出荷時のデフォルト設定に戻す必要があります (その後、工場出荷時のデフォルトパスワードを再度入力可能)。Videobar デバイスのすべての設定を工場出荷時のデフォルトに戻すには、次のいずれかを実行します。

リモコンの Home ボタンと Autoframe ボタンを同時に 5 秒間長押しします。

Videobar の側面で、消音ボタンと Bluetooth ボタンを同時に 5 秒間長押しします。

パスワードは任意に応じて変更してください。パスワードの要件と変更方法については、[Configuration Tab > System > Device Password](#) を参照してください。

アプリの管理エリアにはウィンドウの左側に以下のタブがあります。

**Status**(ステータス)：デバイス情報、利用可能なファームウェアアップデートへのアクセス、オーディオ、ビデオ、接続ステータス。このタブは、管理エリアに正常にログインすると自動的に表示されます。



**Configuration**(構成)：ファームウェアのインストール、特定のビデオ、オーディオ、接続設定へのユーザーアクセスの設定、プロフィール、システム設定、識別設定の設定。(新しいバージョンのVideobarファームウェアが利用可能な場合、このアイコンの横に赤い点が表示されます。)



**Video**(ビデオ映像)：カメラプリセットの保存または呼び出しと工場出荷時のカメラ設定の復元、オート・フレーム・アクセスの有効化または無効化とオート・フレーム設定、自動低照度補正の有効化または無効化と低照度補正設定。



**Audio**(オーディオ)：リニア・マイクロフォン・アレイを設定し、マイクやその他のオーディオ設定へのアクセスを制御し、オーディオ入出力レベルを表示します。



**Network**(ネットワーク)：有線およびワイヤレス接続の有効化または無効化、ネットワーク接続のインターネットプロトコル(IP)設定、ワイヤレスネットワークセキュリティ設定を行います。



**Security - Certificates** ((セキュリティと認証)VB1のみ)：新しい証明書署名要求(CSR)の作成、保留中のCSRの表示、新しい証明書のインストール、既存の証明書の表示。



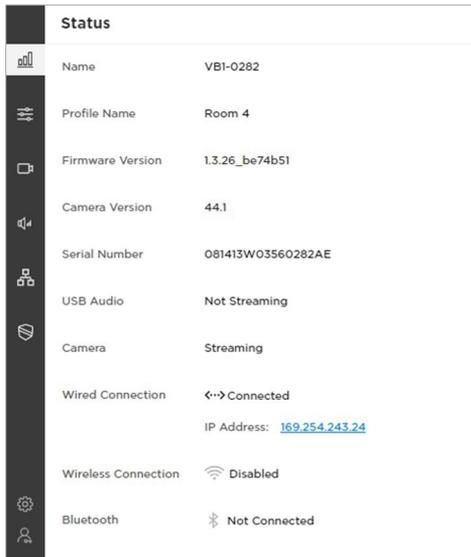
30分間アプリの操作がない場合、セキュリティのため2分後にログアウトされることを示すメッセージが表示されます。アプリを続ける場合は「**Continue/続行**」を、アプリを終了する場合は「**Log Out/ログアウト**」をクリックしてください。

カメラのコントロールとホーム画面に戻るには「**Administration /管理**」アイコンをクリックし、「**Sign Out/ サインアウト**」をクリックします。



# STATUS(ステータス)

「Status /ステータス」タブには、Bose Professional Videobar デバイスと接続ステータスに関する情報が表示されます。



Status	
Name	VBI-0282
Profile Name	Room 4
Firmware Version	1.3.26_be74b51
Camera Version	44.1
Serial Number	081413W03560282AE
USB Audio	Not Streaming
Camera	Streaming
Wired Connection	↔ Connected IP Address: <a href="#">169.254.243.24</a>
Wireless Connection	📶 Disabled
Bluetooth	📶 Not Connected

**Name (名前)**：デバイスに割り当てられた名前(Configuration(構成)タブの Identity(固有情報)ページ)。

**Profile Name(プロフィール名)**：デバイスにアップロードされた保存済み設定プロフィールの固有名。

**Firmware Version(ファームウェアのバージョン)**：インストールされているファームウェアのバージョン番号。

**Update Firmware(ファームウェアの更新)**：このボタンは、アップデートが可能な場合にのみ表示されます。ボタンをクリックすると、ファームウェアのページに移動します。

**Camera Version(カメラバージョン)(VB1のみ)**：Videobarカメラソフトウェアのバージョン番号。

**Serial Number(シリアル番号)**：デバイスのシリアル番号。

**USB Audio(USBオーディオ)**：Bluetoothオーディオストリーミングステータス- Connectedまたは Not Connected(ストリーミング中または非ストリーミング)。

**Camera(カメラ)**：ビデオ映像のステータス - Connectedまたは Not Connected(ストリーミングまたは非ストリーミング)。

**Wired Connection(有線接続(VB1のみ))**：有線接続の状態：

有線接続が設定されていない場合、ステータスは「**Disabled/無効**」です。

有線接続が確立されると、ステータスは「**Connected/接続済み**」となり、IP アドレスがアクティブなリンクとして表示されます。リンクをクリックすると、デバイスへの

ブラウザ接続が開きます。

有線接続が確立され、信号が失われた場合、ステータスは「**Disconnected** / 切断」されます。

**Wireless Connection (ワイヤレス接続) :** ワイヤレス接続のステータス :

ワイヤレス接続が設定されていない場合、ステータスは「**Disabled** / 無効」です。

ワイヤレス接続が確立されると、ワイヤレスネットワーク名が表示され、IP アドレスがアクティブリンクとして表示されます。

ワイヤレス接続が確立され、信号が失われた場合、ステータスは「**Disconnected** / 切断」です。

*Bluetooth* : Bluetoothの接続状態 : **Connected** または **Not Connected** (接続中または未接続) で表示。接続されている場合、Videobarデバイスとペアリングされているデバイスの名前が、**BT Audio** (Bluetoothオーディオ) および **BT Call** (Bluetooth 通話) のステータスと共に、Streaming または Not Streaming (ストリーミングまたは非ストリーミング) のいずれかで表示されます。

# CONFIGURATION (コンフィグレーション)

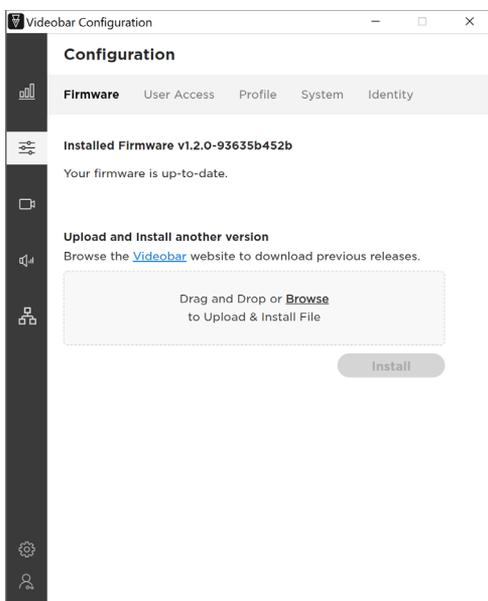
Configuration タブには、ファームウェア情報とアップデート機能、特定のビデオ、オーディオ、接続設定へのユーザーアクセス、プロファイル、システム設定、識別設定を管理するコントロールなど、Bose Professional Videobar デバイスに関する情報が含まれます。

注: 新しいバージョンのファームウェアが利用可能な場合、Configuration アイコンの横に赤い点が表示されます。



## Firmware (ファームウェア)

ファームウェアページには、現在インストールされているファームウェアのバージョンが表示され、新バージョンのファームウェアが利用可能な場合は、Configuration アイコンの横に赤い点が表示され、**Install** ボタンの横にメッセージが表示されます。



最新のファームウェアをインストールするには

1. 表示されている「**Install** (インストール)」ボタンをクリックします。**Release Notes** (リリースノート)の矢印をクリックすると、新しいファームウェアのリリースノートを表示または非表示にできます。
2. 「**Cancel** (キャンセル)」または「**Continue** (続行)」をクリックして、ファームウェアのアップデートを続行するかどうかを確認します。

## ファームウェアをマニュアル(手動)でインストールする

ファームウェアのページでは、ファームウェアを直接インストールすることもできます。これを行うには、

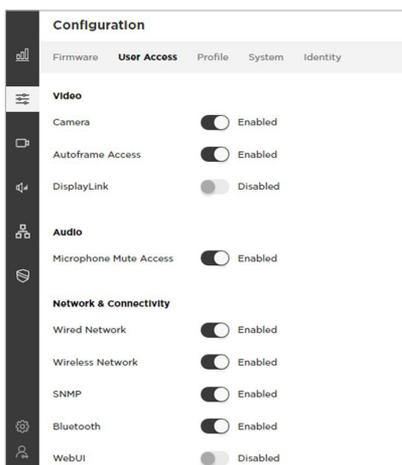
1. **Upload and Install another version** (別バージョンのアップロードとインストール) のリンクをクリックし、インストールしたいファームウェアのバージョンを検索してダウンロードします。
2. 「**Firmware** (ファームウェア)」ページのグレーのボックスへ、ドラッグ&ドロップするか、「**Browse** (参照)」をクリックして目的のファームウェアの.swuファイルを探して選択し、グレーのボックスの下にある「**Install** (インストール)」をクリックします。

インストールに失敗した場合は、インストール中にエラーが発生したというメッセージが表示されます。OKをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

## User Access (ユーザーアクセス)

「**User Access** (ユーザーアクセス)」ページでは、ビデオ、オーディオ、ネットワークおよび接続性 の特定の設定へのユーザーアクセスを許可するかどうかを指定できます。

トグルをクリックして、次のビデオ、オーディオ、ネットワークおよび接続機能へのアクセスを有効または無効にします。



### Video (ビデオ映像)

**Camera** : Videobar カメラを有効または無効にします。

**Autoframe Access** : オートフレーム機能へのユーザーアクセスを有効または無効にします (リモートコントロールまたはモバイルデバイスの Videobar Mobile アプリ経由)。(この設定は、「Video」タブの「Autoframe」ページの「Autoframe Access」設定と同じです)。

注: 無効にすると、ホーム画面 (**Home screen**) ではオートフレームはオフのままとなります。

**DisplayLink (ディスプレイ・リンク (VB1のみ)):** Videobar VB1 の HDMI Display ポート出力を有効/無効にします。デフォルト設定は無効です。Windowsを使用している場合は、まず [displaylink.com/downloads](https://displaylink.com/downloads) から最新のDisplayLinkドライバをダウンロードしてインストールする必要があります。

## Audio (オーディオ)

**Microphone Mute Access (マイク・ミュートのアクセス):** ビデオバーのマイクをミュートする機能を有効または無効にします。

## Network & Connectivity (ネットワークと接続性)

**Wired Network (有線ネットワーク (VB1のみ)):** 有線ネットワーク接続の有効/無効を設定します。

**Wireless Network (ワイヤレスネットワーク):** ワイヤレスネットワーク接続の有効/無効を設定します。

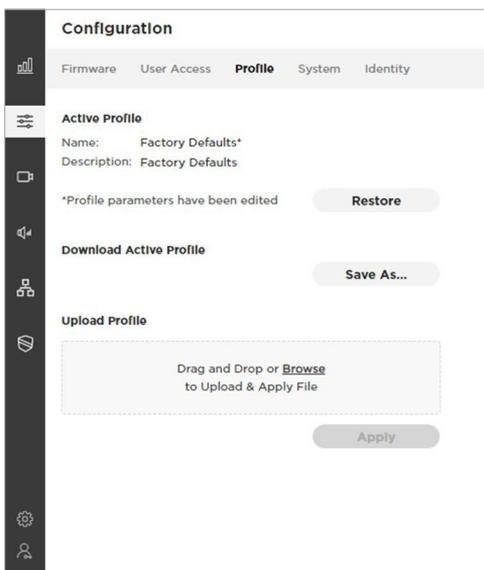
**SNMP:** ネットワーク上の Simple Network Management Protocol (SNMP) を有効または無効にします。

**Bluetooth:** Bluetooth 接続を有効または無効にします

**WebUI:** Videobar 設定 WebUI へのアクセスを有効または無効にします。

## Profile (プロフィール)

「Profile (プロフィール)」のページでは、プロフィールのアップロード、ダウンロード、復元ができます。プロフィールには一意のプロファイル名が含まれ、識別説明を含めることもできます。



## Restoring a Profile (プロフィールの復元)

インストールされているプロフィールは、工場出荷時のデフォルトであれ、新しく更新されたバージョンであれ、変更されている(プロフィール内の1つ以上のパラメータが変更されている)場合は、アスタリスク(\*)が表示されます。

注: 変更の例として、Bluetooth接続を無効(Disabled)にしたり、ワイヤレスネットワークモードをDHCPからStatic(スタティック)に変更したりすることが挙げられます。

**Active Profile(アクティブプロフィール)**セクションの「**Restore(復元)**」ボタンをクリックすると、すべての変更を破棄してプロフィールをリストアできます。現在のプロフィールを変更内容で上書きするかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。「**Cancel(キャンセル)**」をクリックして変更を維持するか、「**Restore(復元)**」をクリックして変更を破棄して以前の設定に戻します。

## 現在のプロフィールを保存する

設定を変更したら、変更内容を新しいプロフィールに保存できます。そのプロフィールを他のBose Professional Videobarデバイスにアップロードすれば、設定時間を節約できます。

設定の変更を新しいプロフィールに保存するには、「**Download Active Profile(アクティブなプロフィールをダウンロード)**」セクションの「**Save As(名前をつけて保存)**」ボタンをクリックします。その後、表示される「**Profile Description(プロフィールの説明)**」フィールドにプロフィールの説明を追加できます。このフィールドには 256 文字の制限があります。

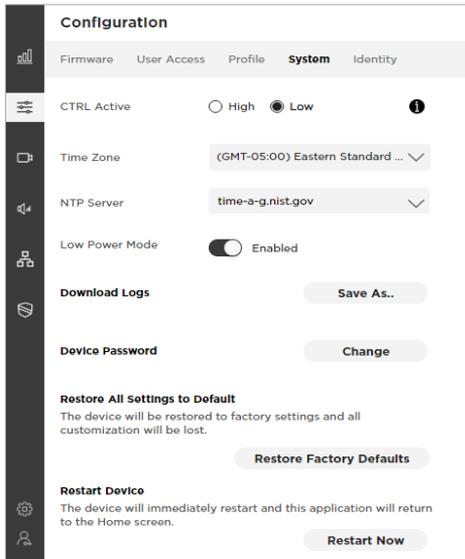
## プロフィールをアップロードする

プロフィールをデバイスにアップロードするには、「**Upload Profile(プロフィールのアップロード)**」セクションのグレーのボックスで、ドラッグ&ドロップするか、「**Browse(参照)**」をクリックしてアップロードするファイルを探して選択し、「**Apply(適用)**」をクリックします。

注: プロフィールをアップロードすると、現在のデバイス設定が上書きされます。

## System(システム)

System(システム)ページには、システム設定、システムログ、パスワード設定、工場出荷時のデフォルト設定に戻すコントロール、Videobarデバイスを再起動するコントロールが含まれています。



**CTRL Active (制御信号のアクティブ状態(VB1のみ)):** 接続されているアラームシステムのアクティブ状態を**High (高)**または**Low(低)**に指定します。デフォルト設定は**Low**です。システムがアクティブ信号を検出すると、Videobar VB1は自動的にスピーカーが消音され、施設のアラームやアナウンスが聞こえるようになります。

**注:** Videobarのスピーカーが意図的ではなくミュート(消音)され続けてしまい、またミュート解除もできない場合、この設定が正しくない可能性があります(アラームシステムがVideobarデバイスの非アクティブ/アイドル状態をアクティブ信号として検出し、そのためそのスピーカーをミュートしている可能性があります)。

**Time Zone(タイムゾーン):** 使用中の地域のタイムゾーンを選択し、指定します。

**NTP Server(NTPサーバー):** ネットワークタイムプロトコル(NTP)サーバーのIPアドレスを選択または入力します。NTPサーバーを使用するには、ネットワークに接続している必要があります

**Low Power Mode(省電力モード):** ローパワーモードを「Enabled(有効)」または「Disabled(無効)」にします。有効にすると、デバイスは2時間アイドル状態の後、低消費電力のスタンバイモードになります。

**注:** Roomsデバイスや画面共有システムなどのコンピューティングシステム(設備会議デバイス)と常時接続してVideobarを使用する場合、デフォルトの「Enabled(有効)」からDisabled(無効)」に変更しておく必要があります。

**Download Logs (ログをダウンロード):** システムログファイルをダウンロードします。

**Device Password (デバイスのパスワード):** 「Change (変更)」をクリックすると、デバイス・パスワードがリセットされます。「New Password (新しいパスワード)」フィールドと「Confirm Password (パスワードの確認)」フィールドの両方に新しいパスワードを入力し、「Save (保存)」をクリックします。

パスワードには以下の文字を含んでいる必要があります。:

- 8~12 個の半角文字
- ひとつ以上の大文字
- ひとつ以上の小文字
- ひとつ以上の数字
- ひとつ以上の特殊記号

ログインに5回失敗すると、工場出荷時のデフォルト設定に戻す必要があります。(その後、工場出荷時のデフォルトパスワードを再設定できます。) Videobar デバイスの全設定を工場出荷時のデフォルトに戻すには、以下のいずれかを実行します。:

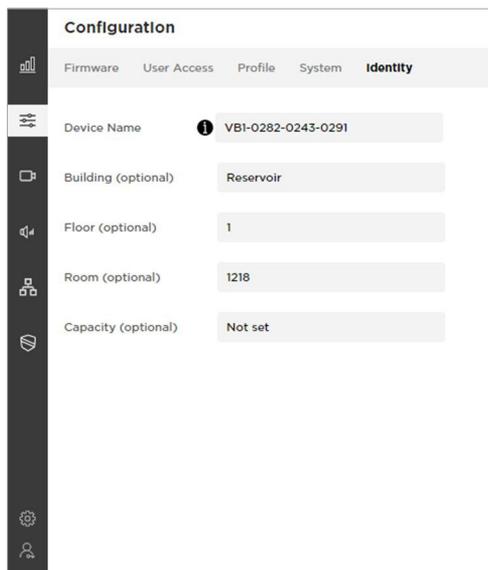
- リモコンで、「Home (ホーム)」ボタンと「Autoframe (オートフレーム)」ボタンを同時に5秒間長押しします。
- (VB1のみ) Videobar VB1の側面で、「Mute (ミュート)」ボタンと「Bluetooth」ボタンを同時に5秒間長押しします。

**Restore All Settings to Default (すべての設定をデフォルトに戻す) :** 「Restore Factory Defaults (工場出荷時の設定に戻す)」をクリックして、デバイスを工場出荷時の設定に戻します。

**Restart Device (デバイスを再起動します) :** 「Restart Now (今すぐ再起動)」をクリックすると、デバイスが直ちに再起動されます。(このボタンを表示するには、下にスクロールする必要がある場合があります。)

# Identity (アイデンティティー)

Identity (アイデンティティー) ページには、ユーザーが編集可能な Videobar デバイスのロケーション名が含まれます。これらの名前は、Videobar 管理アプリで複数のデバイス (複数のロケーション) を表示したりソートしたりする際に便利です。



The screenshot shows the 'Identity' configuration page. At the top, there is a 'Configuration' header with tabs for Firmware, User Access, Profile, System, and Identity. Below the tabs, there is a list of configuration fields:

Field Name	Value
Device Name	VBI-0282-0243-0291
Building (optional)	Reservoir
Floor (optional)	1
Room (optional)	1218
Capacity (optional)	Not set

以下のフィールドを編集して、デバイスの識別情報を提供することができます：

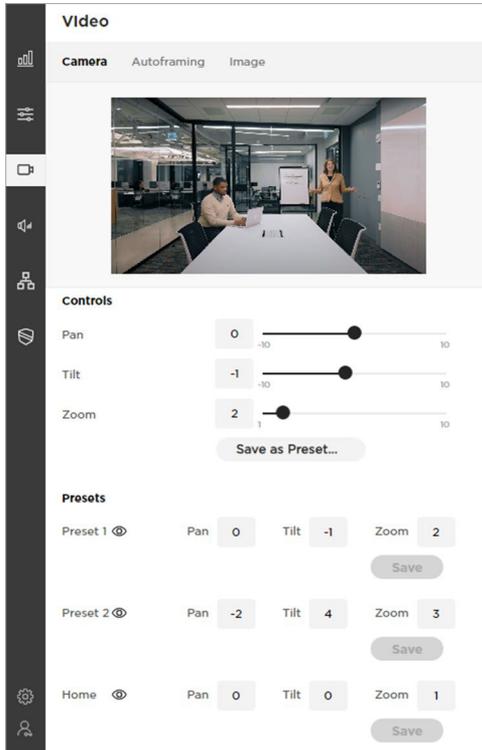
- **Device Name (デバイス名)**には、大文字と小文字を区別するアルファベット [A-Z]、数字 [0-9]、またはハイフン [-]を使用できます。スペースやその他の特殊文字は使用できません。
- **Building (建物)**
- **Floor (フロア、階)**
- **Room (ルーム、部屋)**
- **Capacity (キャパシティ)**

# VIDEO (ビデオ映像)

Video(ビデオ) タブには、Bose Professional Videobar device のカメラの設定、オートフレーミング、画像処理のコントロールがあります。

## Camera (カメラ)

カメラのページではカメラのパン・チルト・ズーム(PTZ)コントロールとカメラのプリセット保存ができます。プリセットを使用すると、カメラの位置をすばやく変更できます。



### 新しいプリセットの保存とプリセットの変更

「Controls(制御)」セクションで、「Pan(パン)」、「Tilt(チルト)」、「Zoom(ズーム)」の設定を調整し、「Save as Preset(プリセットとして保存)」をクリックし、「Preset 1」、「Preset 2」、または「Home」として保存するかを指定します。

**注:** ユーザーは、リモコンの各プリセットボタンを3秒間長押しすることで、現在のビューをプリセット1または2へ保存することもできます。ただし、ホームプリセットは、アプリのAdministration(管理者)エリアでのみ保存が可能です。リモコンではユーザーが任意で保存することはできません。

## 保存されたプリセット・ビューの表示

プリセット名の上にマウスを置くと表示される「View(表示)」アイコンをクリックすると、保存されたプリセットを呼び出して表示することができます。プリセットが存在しない場合、このアイコンは表示されません。

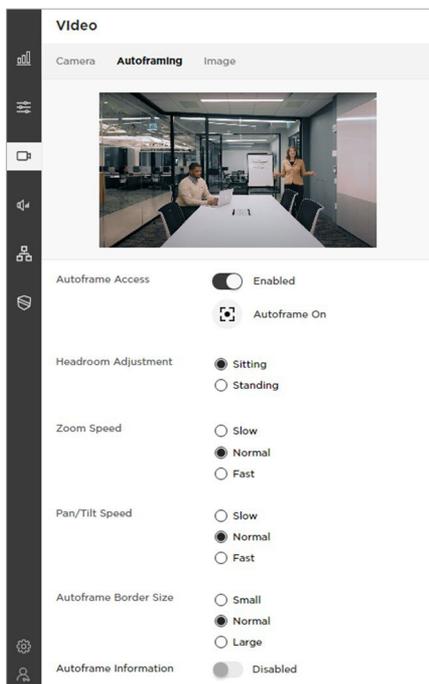


注: 変更を保存せずにページを終了しようとする時、未保存の変更について警告するメッセージが表示されます。「Cancel(キャンセル)」をクリックして「Camera(カメラ)」ページに戻り、変更内容を保存するか、「Leave(終了)」をクリックして終了し、変更内容を破棄します。

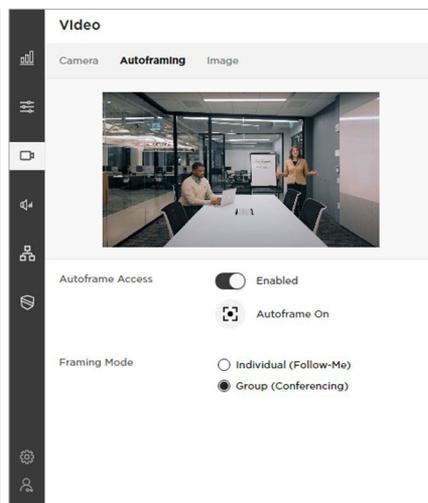
## Autoframing (オートフレーミング)

Autoframing (オートフレーミング) ページでは、オートフレーム機能のオン・オフを設定できる「Autoframe Access(オートフレーム・アクセス)」を含め、すべてのオートフレーム設定を行うことができます。

VB1のオートフレーミングページ。



VB-Sのオートフレーミングページ。



**Autoframe Access(オートフレーム・アクセス):** オートフレーム機能へのユーザーアクセスをEnabled(有効)またはDisabled(無効)にします(リモートコントロールまたはモバイルデバイスのVideobar Mobileアプリ経由での操作)。(この設定は、「Settings(設定)」タブの「User Access(ユーザーアクセス)」ページの「Autoframe Access(オートフレーム・アクセス)」設定と同じです)。

**Autoframe On / Autoframe Off (オートフレームON/オートフレームOFF)**： オートフレームのアイコンをクリックして、オートフレームのオン/オフを切り替える。



注: Autoframe Access (オートフレーム・アクセス)がDisabled (無効)に設定されている場合、またはAutoframe (オートフレーム)がOFF (オフ)の場合、このページの他の設定は灰色表示されます。



**Framing Mode (フレーミング・モード(VB-Sのみ))**： オートフレーミングモードを選択します。： Individual (個人追従型)でより速くトラッキングするか、Group (グループ会議型)でよりゆっくり、よりじっくりトラッキングするかを選択します。(VB1の初期設定はGroupです)。

**Headroom Adjustment (ヘッドルーム調整(VB1のみ))**： 「Standing (立位)」または「Sitting (座位)」を選択し、カメラフレームの上部と被写体の頭部との間のスペースを指定します。主に立って会議を行っている場合は「Standing」、それ以外の場合は「Sitting」を選択します。

**Zoom Speed (ズーム速度(VB1のみ))**： 部屋の中で人が動いたときのカメラのズームインとズームアウトの速さを選択します： Slow (遅い)、Normal (標準)、Fast (速い)の中から選択します。

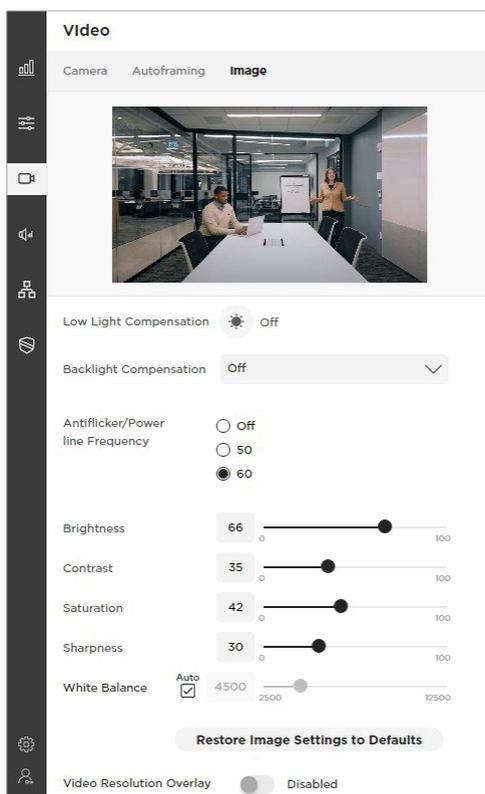
**Pan/Tilt Speed (パン/チルトスピード(VB1のみ))**： 部屋の中で人が動いた時のカメラのパン/チルトスピードを選択します： Slow (遅い)、Normal (標準)、Fast (速い)から選択します。

**Autoframe Border Size (オートフレームボーダーサイズ(VB1のみ))**： フレーム画像のボーダーサイズを調整します： Small (小)、Normal (標準)、またはLarge (大)から選択します。最小ボーダー(最大ズーム)にする場合は、「Small (小)」を選択します。

**Autoframe Information (自動フレーム情報(VB1のみ))**： このスイッチをクリックして、このトラブルシューティング機能を「Enabled (有効)」または「Disabled (無効)」にします。「Enabled (有効)」に設定すると、オートフレームオブジェクトがビデオ画像に重畳表示(スーパーインポーズ)されます。これらのオブジェクトは、ファーエンド(遠方)相手の会議参加者側やセルフビューに表示されます

## Image(イメージ/画像)

画像ページには、以下のカメラ画像設定があります。



**Low Light Compensation(低照度補正)**：自動低照度補正のOn/OFF(オン/オフ)を切り替えるには、このボタンを選択または選択解除します。Onに設定すると、低照度補正は薄暗い照明条件下でビデオを最適化します。(Low Light CompensationをOnに設定できるのは、Backlight Compensation(逆光補正)がオフに設定されている場合のみです。)

**Backlight Compensation(逆光補正)**：明るい光源がある状況の場合に画像の露出を調整します。例えば、逆光補正を使用すると、明るい照明の前などに立ってシルエットだけになってしまっている人物をより明るく照らすことができます。(逆光補正が有効な場合、低照度補正は自動的にOff(オフ)設定されます)。

VB1では、Low(低)、Medium(標準)、High(高)を選択して逆光補正のレベルを設定し、Off(オフ)を選択して逆光補正を無効にします。

VB-Sでは、On(オン)またはOff(オフ)を選択して、逆光補正の有効/無効を設定します。

**Antiflicker/Power Line Frequency (アンチフリッカー/電源ライン周波数) :** 50 または60を選択し、室内空間における照明のAC周波数(Hz)数を指定します。この機能は、ビデオ画像に見られる「ちらつき」を補正します。この機能を無効にするには、「OFF(オフ)」を選択します。

**Brightness (明るさ) :** 画像全体の明暗を設定します。

**Contrast (コントラスト) :** 画像の明るい部分と暗い部分の差を設定します。

**Saturation (彩度) :** 画像の色の濃さを設定します。

**Sharpness (シャープネス) :** 画像の鮮明さを設定します。

**White Balance (ホワイトバランス) :** 光源の色温度のバランスを設定します。自動を選択すると、自動的にバランスが設定されます。

**Restore Image Settings to Defaults (画像設定をデフォルトに戻す) :** これらの設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

**Video Resolution Overlay (ビデオ解像度オーバーレイ) :** このトラブルシューティング機能を有効または無効にするには、これを選択または選択解除します。有効にすると、画面の解像度がビデオ画像に重畳されます。これは、遠端の会議参加者およびセルフビューに表示されます。

# AUDIO (オーディオ)

Audio タブでは、Bose Professional Videobar デバイスのマイクアレイ設定、オーディオ設定、オーディオ入出力レベルにアクセスできます。

## Microphones (マイクロフォン)

マイクのページでは、マイクのBeam Type(ビームタイプ)を指定し、(ビームタイプに応じて)ビームを設定することで、室内で話している人の検出を最適化することができます。また、不要なノイズを最小化するために、Exclusion Zones(除外ゾーン)を設定することもできます。

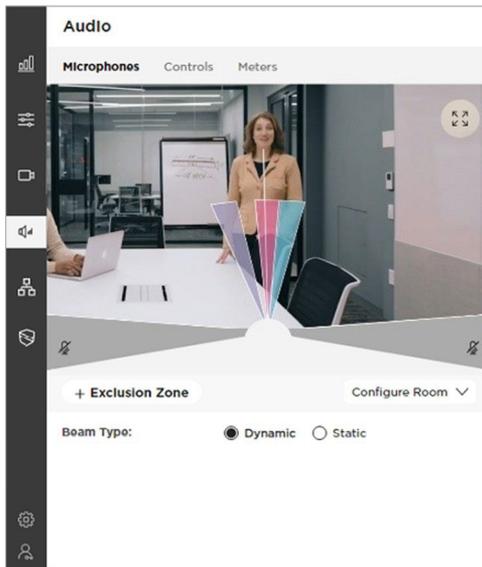
マイクロホンビームは、ライブビデオストリーム上に重なってオーバーレイ表示され、マイクロホンビームのカバー範囲を視覚的に表現します。

画像をフルスクリーン表示するには「拡大」アイコンをクリックします。



## Dynamic Beams (ダイナミック(動的)・ビーム)

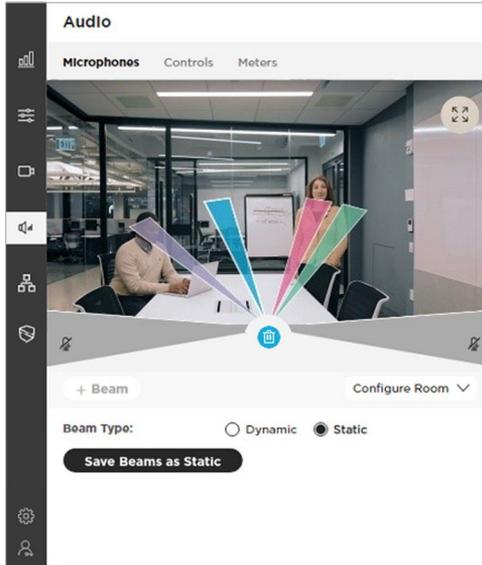
デフォルトのビームタイプは「Dynamic(ダイナミック・動的)」で、部屋の中で最も大きな音を自由に探す1本のビーム(白い線)と、部屋の中で話している人に自動的に向けられる追加のダイナミックビーム(半透明の色のついた形)があります。



すでに現時点でStatic(静的)ビームを保存しており、Dynamic(動的)ビームに戻りたい場合は、Beam Type(ビームタイプ)をDynamicに設定し、表示されたらSave Beams as Dynamic(ダイナミックとしてビームを保存)をクリックします。

## Static Beams(スタティック(静的)・ビーム)

状況によっては、Static(スタティック・静的)ビームを、指定されたスピーキング位置に向けることで、より良いパフォーマンスが得られる場合があります。この場合は、**Beam Type(ビームタイプ)**をStaticビームに設定し、**+Beam(追加ビーム)**をクリックして手動でビームを追加し、ビームをクリックして部屋の指定されたスピーキング位置にドラッグします。



これらのビームを保存するには、**Save Beams as Static(スタティックとしてビームを保存)**をクリックします。キャンセルするには、**Beam Type**をDynamicに戻すか、**Microphones**ページを終了してください。

## Adding and Deleting Beams (ビームを追加/削除する)

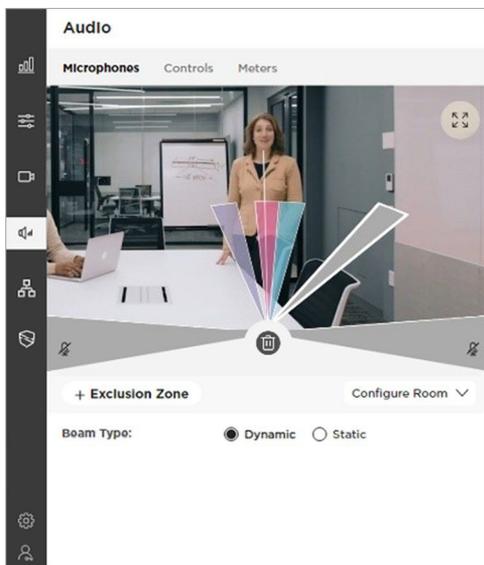
ビームを追加するには、**+Beam(追加ビーム)**をクリックします。

ビームを削除するには、ビームをクリックして選択し、**Delete(削除)アイコン**(ビームを選択したときのみ表示され、選択したビームと同じ色です)をクリックします。

**注:** 最大4本のビームを作成できます。**+Beam**ボタンはビームが4本以下の場合のみ有効です。

## Exclusion Zones(エクスクルージョン(除外)・ゾーン)

ダイナミック(動的)マイクロフォンのビームを向けたくないエリアを指定することで、不要なノイズを最小限に抑えることができます。



デフォルト(初期値)では、2つのExclusion Zone (除外ゾーン)が存在し、室内の画像の左下と右下のグレーの領域で表されています。

注: デフォルトの除外ゾーンは削除したり、小さくしたりすることはできませんが、より大きくすることはできます。

別の除外ゾーンを追加するには、**+Exclusion Zone** (追加除外ゾーン)をクリックします。

注: 最大3つのExclusion Zone (除外ゾーン)があります。Exclusion Zoneが3つ以下の場合のみ、「+Exclusion Zone」ボタンが有効になります。

各Exclusion Zone の指向範囲を拡大または縮小するには、立入禁止区域の端をクリックし、希望の角度にドラッグします。

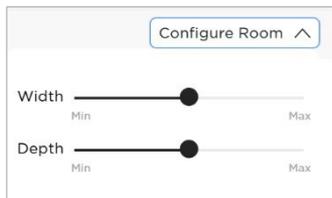
Exclusion Zoneを削除するには、クリックしてExclusion Zoneを選択し、**Delete** (削除)アイコン (除外ゾーンを選択した場合にのみ表示される)をクリックします。



## Configure Room (部屋の構成)

Configure Room の設定は、実際の Videobar マイクのビームには影響しません。

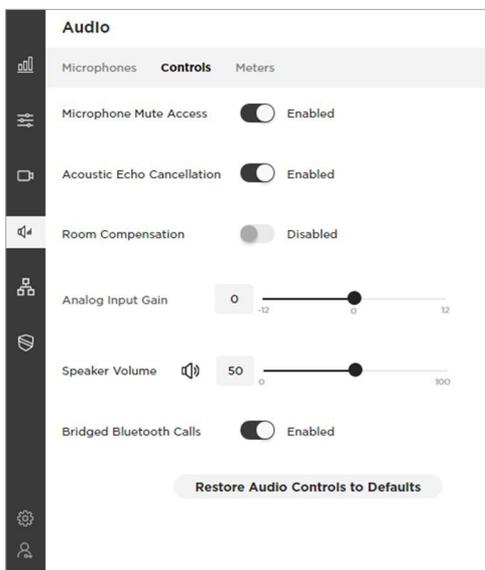
画像に表示されるビームの長さだけを変更します。**Width**と**Depth** (幅と奥行き)を調整することで、ビームを短くしたり長くしたりすることができます。



**注:** Restore Defaults (デフォルトに戻す) をクリックして、これらの設定を工場出荷時の初期値に戻します。

## Audio Controls (オーディオ制御)

**Controls** (コントロール) ページでは、以下の機能を設定することができます。



**Microphone Mute Access:** (マイクミュートアクセス) : VideobarマイクのミュートをEnabled (有効)またはDisabled (無効)にします。

**Acoustic Echo Cancellation** (アコースティックエコーキャンセレーション) : アコースティックエコーキャンセレーション(AEC)をEnabled (有効)またはDisabled (無効)にします。

**Room Compensation** (室内調整 (VB1 のみ)) : 残響の多い部屋での音声処理をEnabled (有効)またはDisabled (無効)にします。この機能を有効にすると、残響の多い部屋 (ガラス壁など) で使用する場合に、マイクの明瞭度が向上します。デフォルトはDisabled (無効) です。

**Analog Input Gain (アナログ入力ゲイン(VB1のみ))**：必要に応じてゲインを調整し、外部ソースの音量と他のオーディオ・ソース(USBおよびBluetoothオーディオ信号)の音量バランスを調整します。

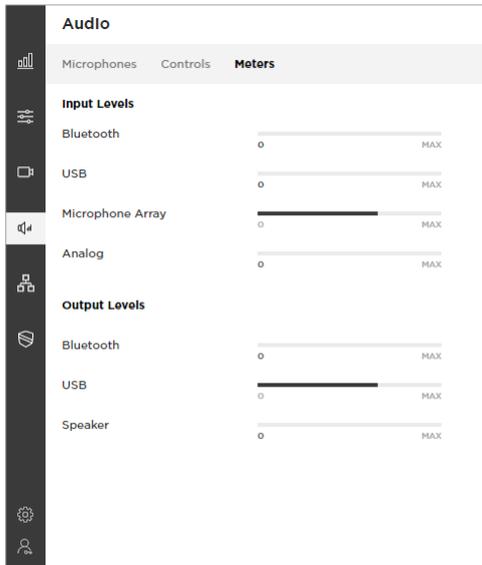
**Speaker Volume (スピーカー音量)**：Videobarの再生スピーカーのオーディオレベルを設定します。この設定は、コンピュータ側のボリューム・コントロール、リモコン、またはペアリングしたモバイル デバイスのボリューム・コントロールを使用して調整することもできます。

**Bridged Bluetooth Calls (Bluetooth通話のブリッジ接続)**：Bluetooth通話と再生メディア音源を、通話がアクティブなWebUC通話(Web会議など)にブリッジする機能をEnabled(有効)またはDisabled(無効)にします。

**Restore Audio Controls to Defaults (オーディオ・コントロールをデフォルトに戻す)**：これらの設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

## Meters (メーター)

Meter(メーター)ページには、Bluetoothオーディオ、USBオーディオ、VideobarマイクアレイのオーディオInput Levels(入力レベル)と、Bluetoothオーディオ、USBオーディオ、Videobarの再生スピーカーのOutput Levels(出力レベル)があります。

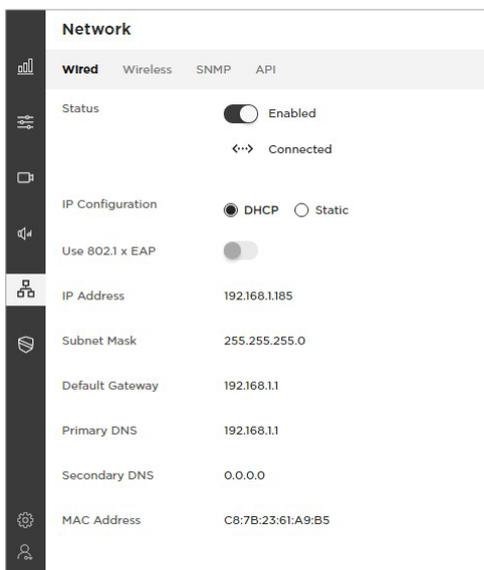


# NETWORK(ネットワーク)

Network タブでは、Bose Professional Videobar デバイスのWired(有線)、Wireless(ワイヤレス)、SNMP、および REST API 設定にアクセスできます。

## Wired (有線)

Wired(有線)ページの「Status(ステータス)」スイッチをクリックして、Wired(有線)ネットワークをEnabled(有効)またはDisabled(無効)にします。(このページはVideobar VB1のみで有効です。)



Wired(有線)ネットワークが有効になっている場合、以下のIP設定を表示および設定できます：

**IP Configuration (IPコンフィギュレーション)：** IP設定の種類を選択します： DHCPまたは Static を選択します。

**DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)：** デバイスのIP Address (IPアドレス)、Subnet Mask(サブネットマスク)、およびその他のネットワークパラメータ(該当する場合)を動的に割り当てます。

IPアドレスとサブネットマスクを手動で入力する場合は、Static(静的)を選択します。設定が完了したら、Apply(適用) をクリックします。

Apply(適用) ボタン(Static IP(静的IP) 設定の場合)は、最低限必要な情報である IP Address(IPアドレス)と Subnet Mask(サブネットマスク) を入力するまで無効のままとなります。Apply(適用)をクリックするまで、変更は有効になりません。

Use 802.1 x EAP (802.1 x EAP を使用) : このスイッチをクリックすると、高度なセキュリティ設定を持つ802.1 x EAP ネットワークへの接続を有効または無効にします。有効にすると、表示されるメニューとフィールドを使用して設定を指定します。:

**EAP Method (EAP手法):** PEAP, TLS, もしくはTTLSを選択します。

**Phase 2 Authentication(フェーズ 2 認証):** None, MSCHAPV2, もしくは MD5 を選択します。

**Identity(アイデンティティ)**

**Anonymous Identity(匿名アイデンティティ)**

**Password(パスワード)** (パスワードの表示・非表示を切り替えるには、「Show Password(パスワードの表示)」チェックボックスを選択または選択解除します。)

Use 802.1 x EAP

EAP Method  
PEAP

Phase 2 Authentication  
None

Identity  
0.0.0.0

Anonymous Identity  
0.0.0.0

Password

Show password

以下のオプション設定は、IP Configuration (IP構成) が Static (静的) に設定されている場合のみ設定できます。IP Configuration (IP構成) が DHCP (動的) に設定されている場合、これらの設定は読み取り専用です。MAC Address (MAC アドレス) は常に読み取り専用となります。

**Default Gateway (デフォルト・ゲートウェイ):** 他のネットワークにトラフィックを転送するために使用されるデバイスのIPアドレス。

**Primary DNS (プライマリDNS):** デバイスにIPアドレスを割り当てるプライマリDNSサーバーのIPアドレス。

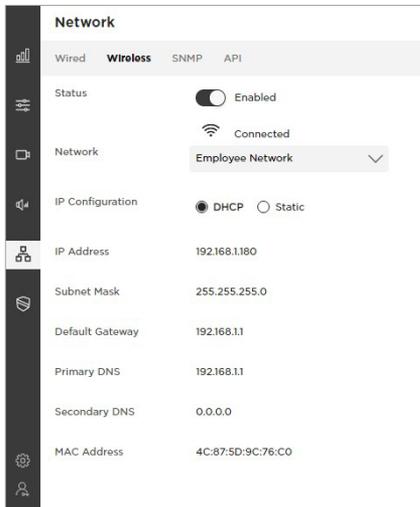
**Secondary DNS (セカンダリDNS):** プライマリDNSサーバーが利用できない場合にデバイスにIPアドレスを割り当てるプライマリDNSサーバーのIPアドレス。

**MAC Address (MACアドレス):** ネットワーク・インターフェイス・コントローラ (NIC) に割り当てられる一意の識別番号。

**注:** Bose Professional Videobarは、Auto IP (自動IP) に対応しています。IP Configuration (IP構成) が DHCP に設定され、DHCPサーバーが見つからない場合、デバイスはAuto IP範囲内のIPアドレスを自動的に割り当てます。

## Wireless(ワイヤレス)

ワイヤレスページのStatus(ステータス)スイッチをクリックして、Wireless(ワイヤレス)ネットワークをEnabled(有効)またはDisabled(無効)にします。



Network(ネットワーク)メニューには、利用可能なネットワークのリスト、各ネットワークの信号強度、ネットワークがパスワードで保護されている場合はロックアイコンが表示されます。WPA2ネットワークを選択した場合は、表示されるフィールドにパスワードを入力し、「Join(参加)」をクリックしてネットワークに接続します。

「Join Other Network(他のネットワークに参加)」を選択すると、「Find and Join a Wireless Network(ワイヤレスネットワークの検索と参加)」のメッセージが表示され、Network Name(ネットワーク名)を入力し、「Security(セキュリティ)」メニューからセキュリティタイプを選択するよう求められます。セキュリティタイプを選択すると、関連するセキュリティ設定のための追加の設定フィールドが表示されます。

ワイヤレス接続が確立されると、Status(ステータス)はConnected(接続済み)と表示されます。接続されています。

Wireless(ワイヤレス)ネットワークがEnabled(有効)になっている場合、以下のIP設定を表示および設定できます：

**IP Configuration (IPコンフィギュレーション)：** IP設定の種類を選択します： DHCPまたはStatic を選択します。

**DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)：** デバイスのIP Address (IPアドレス)、Subnet Mask(サブネットマスク)、およびその他のネットワークパラメータ(該当する場合)を動的に割り当てます。

IPアドレスとサブネットマスクを手動で入力する場合は、Static(静的)を選択します。設定が完了したら、Apply(適用) をクリックします。

Apply(適用) ボタン(Static IP(静的IP) 設定の場合)は、最低限必要

な情報である **IP Address** (IPアドレス) と **Subnet Mask** (サブネットマスク) を入力するまで無効のままとなります。**Apply** (適用) をクリックするまで、変更は有効になりません。

以下のオプション設定は、**IP Configuration** (IP構成) が **Static** (静的) に設定されている場合にのみ設定できます。**IP Configuration** (IP構成) が **DHCP** に設定されている場合、これらの設定は読み取り専用となります。**MAC Address** (MACアドレス) は常に読み取り専用です。

**Default Gateway** (デフォルト・ゲートウェイ) : 他のネットワークにトラフィックを転送するために使用されるデバイスのIPアドレス。

**Primary DNS** (プライマリDNS) : デバイ스에 IP アドレスを割り当てるプライマリDNSサーバーのIPアドレス。

**Secondary DNS** (セカンダリDNS) : プライマリDNSサーバーが利用できない場合にデバイスに IP アドレスを割り当てるプライマリDNSサーバーのIPアドレス。

**MAC Address** (MACアドレス) : ネットワーク・インターフェイス・コントローラ (NIC) に割り当てられる一意の識別番号。

**注:** Bose Professional Videobarは、Auto IP (自動IP) に対応しています。  
**IP Configuration** (IP構成) が **DHCP** に設定され、DHCPサーバーが見つからない場合、デバイスはAuto IP範囲内のIPアドレスを自動的に割り当てます。

# SNMP

Bose Professional Videobar デバイスは、ネットワーク管理とモニタリングのために SNMP (Simple Network Management Protocol) v3 をサポートしています。「Reset (リセット)」をクリックしてこのページを以前の設定に戻すか、「Apply (適用)」をクリックして変更を適用します。

**SNMP Documentation (SNMP ドキュメンテーション)** リンクをクリックすると、Videobar デバイスがサポートする SNMP 変数および操作に関する情報が記載された SNMP 管理ガイドが表示されます。

The screenshot shows the 'Videobar Configuration' window with the 'Network' section selected. Under the 'SNMP Setting' tab, the following settings are visible: Status is 'Enabled' (toggle on), Authentication Protocol is 'None', Username is 'videobar', Password is masked with dots, Encryption Protocol is 'None', Privacy Passphrase is masked with dots, and Trap Server is empty. At the bottom, there are 'Reset' and 'Apply' buttons, and a link for 'SNMP Documentation'.

**Status (ステータス)**： デバイスがSNMPポーリングとトラップを受け入れるかどうかを設定します。

**Authentication Protocol (認証プロトコル)**： Bose Professional Videobar デバイスは、SNMP v3 をサポートしています。ユーザーの身元を確認するために、オプションの認証プロトコルを選択します。

**Username (ユーザー名)**： SNMP v3 情報にアクセスできるユーザーのユーザー名を入力します (最大 32 文字)。

**Password (パスワード)**： SNMP v3情報にアクセスできるユーザーのパスワードを入力します (最大32文字)。このパスワードは、認証パスフレーズと呼ばれることもあります。パスワードの表示/非表示を切り替えるには、「Show Password」チェックボックスを選択または選択解除します。

**Encryption Protocol (暗号化プロトコル)**： SNMP v3情報の機密性を確保するために、オプションのプライバシープロトコルを選択します。

**Privacy Passphrase (プライバシー・パスフレーズ)**： SNMP v3情報にアクセスでき

るユーザーのプライバシー・パスフレーズを入力します。認証を有効にせずにプライバシーを有効にすることはできません。プライバシー・パスフレーズの表示/非表示を切り替えるには、「**Show Privacy Passphrase** (プライバシー・パスフレーズを表示)」チェックボックスを選択しオンまたはオフにします。

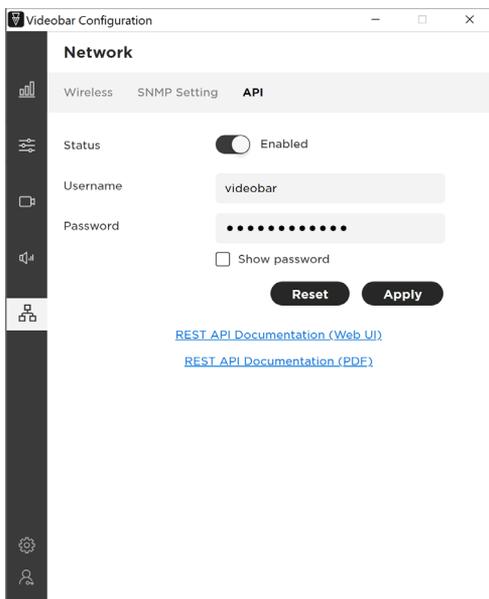
**Trap Server (トラップサーバー)**：SNMP サーバーの IP アドレスを入力します。デバイスは、MIBに従ってこのアドレスにトラップとイベント通知を送信します。

**注**：SNMP 経由で Bose Professional Videobar デバイスがサポートする特定の Polls and Traps (ポーリングとトラップ) の詳細については、SNMP Admin Guide (管理ガイド) を参照してください。

## API

Bose Professional Videobar デバイスは、ネットワーク管理とモニタリングのために、Representational State Transfer Application Programming Interface (REST API) をサポートしています。「**Reset (リセット)**」をクリックしてこのページを以前の設定に戻すか、「**Apply (適用)**」をクリックして変更を適用します。

「**REST API Documentation (REST API ドキュメント)**」リンクをクリックすると、Bose Professional Videobar デバイスがサポートする REST API 変数と操作に関する情報が記載された REST API ガイドが表示されます。「**Web UI**」リンクをクリックしてブラウザで開くか、「**PDF**」リンクをクリックして PDF で開きます。



**Status (ステータス)**：デバイスが REST API 通信を受け入れるかどうかを設定します。

**Username (ユーザー名)**：REST API 情報にアクセスできるユーザーのユーザー名を入力します (最大 32 文字)。

**Password(パスワード)**：REST API情報にアクセスできるユーザーのパスワードを入力します(最大32文字)。パスワードの表示/非表示を切り替えるには、「Show Password(パスワードを表示)」のチェックボックスを選択または選択解除します。

# SECURITY – CERTIFICATES(セキュリティ証明書)

Security–Certificates (セキュリティ-証明書)タブでは、証明書管理設定にアクセスできます。デジタル証明書には、ユーザー、デバイス、組織、サーバーなどのIDを認証するために必要な情報が含まれています。

**注:** Videobar VB1はWired(有線)ネットワークとWireless(ワイヤレス)ネットワークの両方にアクセスでき、Videobar VB-SはWireless(ワイヤレス)ネットワークのみにアクセスできます。

VIDEOBAR Configuration アプリを使用し、証明書を管理しながら以下の操作を実行できます：

証明書サイン要求(CSR)の作成

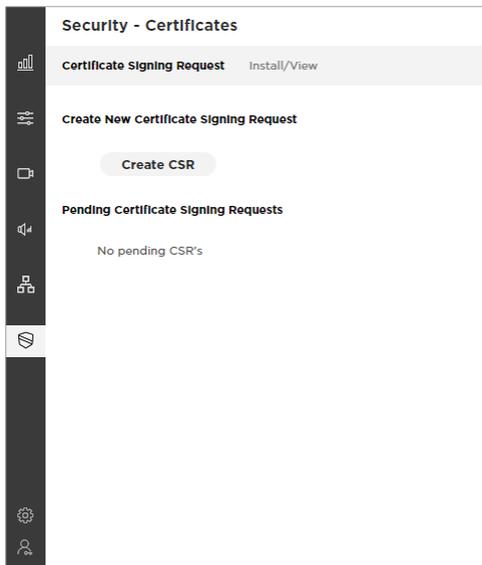
certificate authority (CA) 生成のためにCSRをホストに転送する

CA certificate (CA証明書)をDeploy(展開)またはInstall(インストール)する

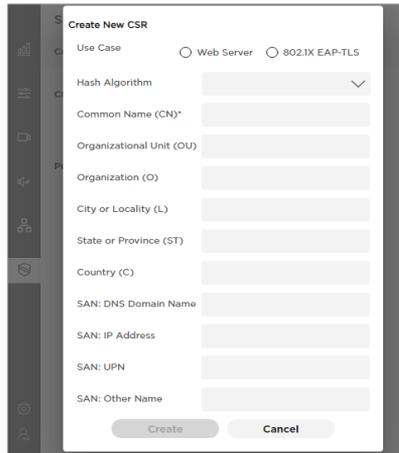
Certificate(証明書)の表示、有効化、削除

## Certificate Signing Request(証明書サイン要求)

Certificate Signing Request(証明書サイン要求)ページでは、証明書サインの要求(CSRs(certificate signing requests))を作成できます。



新しいCSRを作成するには、「Create CSR(CSRの作成)」をクリックします。一度に作成できるCSRは1つだけです。



表示の Create New CSR (CSRの新規作成)ウィンドウで以下の設定を行います：

**Use Case(ユース・ケース)を選択：**「Web Server」または「802.1X EAP-TLS」

**注：**Videobar VB1はWired(有線)ネットワークとWireless(ワイヤレス)ネットワークの両方にアクセスでき、Videobar VB-SはWireless(ワイヤレス)ネットワークのみにアクセスできます。

**Hash Algorithm(ハッシュアルゴリズム)を選択：** SHA-256、SHA-384、または SHA-512

以下の情報を入力してください：

**Common Name (CN) (共通名称 (本項目のみ必須入力))**

**Organizational Unit (OU) (組織ユニット)**

**Organization (O) (組織)**

**City or Locality (L) (街もしくは地方)**

**State or Province (ST) Country (C) (州、もしくは国)**

**SAN: DNS Domain Name (サブジェクトの別名：DNSドメイン名)**

**SAN: IP Address(サブジェクトの代替名：IPアドレス)**

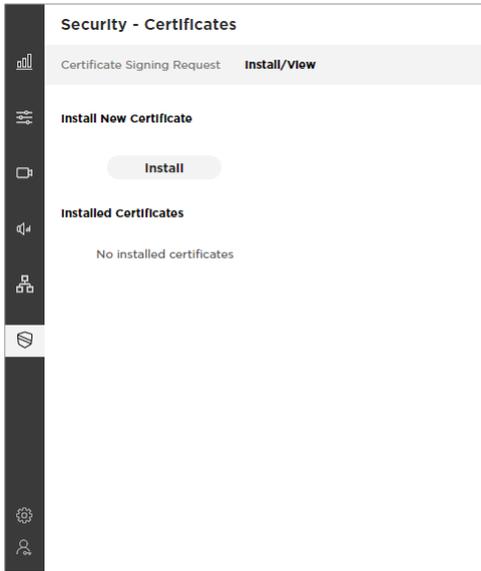
**SAN: UPN(サブジェクトの代替名：ユーザー首席名称)**

**SAN: Other Name(サブジェクトの代替名：その他名称)**

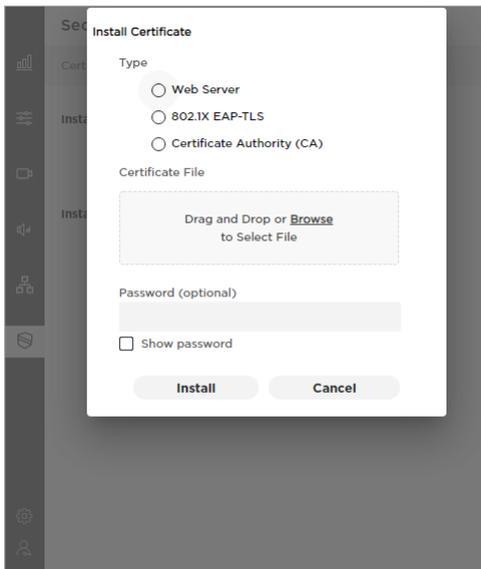
「Create(生成)」をクリックして CSR を作成するか、「Cancel(キャンセル)」をクリックしてウィンドウを閉じます。保留中のCSRは、「Pending Certificate Signing Requests(保留中の証明書署名要求)」に表示されます。

# Install/View(インストール/ビュー)

Install/View(インストール/ビュー) ページでは、証明書をインストールできます。



新しい証明書をインストールまたは表示するには、「Install(インストール)」をクリックします。



表示される「Install Certificate(証明書をインストール)」ウィンドウで、以下の設定を行います：

**Type(タイプ)：** 証明書のタイプを選択する：**Webサーバー、802.1X EAP-TLS、**または**Certificate Authority(CA(認証局))**

**注：** Videobar VB1はWired(有線)ネットワークとWireless(ワイヤレス)ネットワークの両方にアクセスでき、Videobar VB-SはWireless(ワイヤレス)ネットワークのみにアクセスできます。

**Certificate File(証明書ファイル)：**「**Certificate File**」の下のグレーのボックスに、必要なCertificate Fileをドラッグ&ドロップするか、「**Browse(参照)**」をクリックして必要なCertificate Fileを検索して選択します。

**Password(パスワード)：** 証明書にアクセスできるユーザーのパスワードを入力します(最大 32 文字)。パスワードの表示/非表示を切り替えるには、「**Show Password(パスワードを表示)**」チェックボックスを選択または選択解除します。

「**Install (インストール)**」をクリックして証明書をインストールするか、「**Cancel(キャンセル)**」をクリックしてウィンドウを閉じます。

インストールされている証明書は、「**Installed Certificates(インストールされた証明書)**」の下に表示されます。



**[boseprofessional.com](https://www.boseprofessional.com)**

©2023 Transom Post OpCo LLC. All rights reserved. Rev. 03